

大和小学校・若宮小学校統合委員会 要点記録

第 12 回

開催日時	平成 28 年 9 月 21 日(月) 午後 6 時 00 分～8 時 30 分	
開催場所	若宮小学校 視聴覚室	
出席者	委員	伊藤英男、北村勝、国定明美、稲尾公貴、和泉智乃、大谷正枝、風見尚征、福嶋晴美、林朱実、杉浦聰、澤村美和子、長岡知恵、長尾久仁子、石澤美佐紀、堀江政人、佐藤民男、堀聡明、松久保雅和、鈴木優介、板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当、子ども教育施設担当 パシフィックコンサルタンツ株式会社
会議次第	【議事】 1 統合新校の校舎(大和小学校)の改築について 2 統合新校の校章の検討について 3 統合新校の校旗の検討について 4 その他	

第 12 回 大和小学校・若宮小学校統合委員会 会議要旨

1 開会

委員長

これより第12回統合委員会を開催する。

本日、傍聴者はいない。本日の議事である大和小学校の位置に建設する新校舎の検討に関して、区の担当者と設計事務所の方が出席している。よろしくお願ひしたい。

委員長

議事に入る前に、報告事項があるとのことなので先に行う。事務局の説明を求める。

(1) 練馬区立谷原小学校の施設見学について

■資料「練馬区立谷原小学校の視察について」事務局から報告

(概要)

新校舎検討の参考とするために8月25日と26日に改築校である練馬区立谷原小学校を視察した。当委員会からは5名の委員が参加した。

○視察先及び概要

- ・練馬区立谷原小学校（練馬区谷原2丁目9番26号）
- ・児童数 594人 21学級（平成28年5月現在）
うち特別支援学級 12人 2学級

○工事期間 平成23年6月～平成28年3月まで

○施設の概要・特色

(1)教育内容の多様化に対応できる教育環境

特別支援学級、多目的教室、調べ学習対応図書室、パソコン室、LAN

(2)児童の生活の場としての環境整備

- 多目的ホール、渡り廊下の大屋根、体育館・プール用更衣室
- (3)エコスクール化
 - 太陽光発電（30kw）、雨水利用（便所、緑化）、屋上緑化
- (4)バリアフリー
 - エレベーター、だれでもトイレ、スロープ、階段手すり
- (5)地域に開かれた学校づくり
 - 学童クラブ、ひろば室、図書室、和室

委員長

事務局から報告があったが、施設見学に参加された委員から感想などを聞きたい。

委員

まず、見た目が私立の学校のように綺麗だった。地域開放型の図書室については、この学校を見て、整備するとしたらこのようになるというイメージができた。ただ、校舎内はガラス張りのところが多く、強化ガラスは入っていると思うのだが、割れたりしたら危険なのではと思った。

あと、屋上緑化はすばらしかったのだが、屋上は児童には開放していなかったので少しもったいないと思った。

委員

開放型の図書室についてだが、入り口が学校の中と外にあって、その間のスペースにトイレなどがあつた。それぞれ施設ができるので、開放しかしていない日は校舎に入らなくてもトイレを使用することができ、児童の安全面について工夫されていると思った。

2階のホールや昇降口など、多くの人数が集まれるスペースがあつた。小学生は、いろいろなところで身の回りのことを観察しながら学習する機会も多いので、それは良いと思った。

各教室の廊下に、給食袋や体育着とかを入れる収納があつたが小さかつた。子どもたちは何かと荷物が多いので、少し不便に感じた。あと、プールの更衣室は非常に広いが入り組んでいるので、死角になる部分が多いと思った。

委員

とてもきれいだったが5年かけて建設したため、当初の計画よりも児童数が増えて、教室を1つ潰して対応しているとのことだった。美鳩小学校は、そういったことがないようにしてもらいたい。

委員

特別支援学級の教室は少し狭めなのだが、後から流し台などの水回りをつくりつけたので、大人が立っても少し高いような気がした。そういったことがないように、子どもたちがどういった生活をするのかということをよく考えた上で、設計段階で対応してもらいたい。

2 議 事

議事(1)統合新校の校舎（大和小学校）の改築について

委員長

それでは議事に移る。統合新校の校舎の改築について、事務局の説明を求める。

- 資料「計画コンセプト 統合新校校舎等整備の基本的な考え方」について、教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）から説明（概要）

1 統合新校改築にあたっての基本的な考え方

中野区では、主に以下の構想・計画等を踏まえ、統合新校の校舎等を整備していく。

○中野区基本構想（平成28年3月改定）	○新しい中野をつくる10か年計画（第3次）
・安心して産み育てられるまち	・地域の育成活動等の充実と育成者支援

	(小学校内へのキッズ・プラザの整備と学童クラブでの放課後のこどもたちの安全安心な活動拠点の整備)
・自ら学び可能性を拓く子どもが育つまち	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い教育環境の整備 (学校再編による児童・生徒数や学級数の一定数確保と子ども同士の交流等、集団活動の良さを活かした活気あふれる学校運営) ・体力向上させる取組の推進 (休み時間・放課後の外遊びの推進やキッズ・プラザ、放課後子ども教室の取組、子どもの自発的な運動を誘発するための環境整備等、遊びを通じた体力づくりの推進) ・特別支援教育の推進 (特別支援教育の充実、全小中学校に特別支援教室の設置)
・学びと文化を創造・発信するまち	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携した読書活動の推進 (地域開放型学校図書館の整備)

○中野区教育ビジョン（第2次）

- ・教育理念「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」

○中野区立小中学校再編計画（第2次）

- ・中野神明小学校、新山小学校の統合
- ・桃園小学校、向台小学校の統合
- ・大和小学校、若宮小学校の統合

○中野区立小中学校施設改築等整備の考え方（平成19年8月）

- ・学習空間としての学校
- ・生活空間としての学校
- ・健康・体力を増進する学校
- ・地域コミュニティ施設としての学校

○中野区立小中学校施設整備計画（平成26年10月）

- ・多様な学習環境を可能にし、地域活動の拠点となる施設の整備
- ・効率的効果的な施設配置や施設設備の共同化
- ・今後の教育環境や社会状況の変化に対応できる学校施設
- ・快適で安全かつ安心な施設環境の確保

2 統合新校の校舎等整備にあたっての視点

<教育機能>

(1) 高機能で多機能な学習環境をつくる。

- ・学級単位での学習のほか、チームティーチングによる学習、少人数指導、グループ学習等、多様な学習形態に対応できる施設をつくる。
- ・ICT（情報通信技術）の進展をふまえた整備や、図書室・コンピュータ室・多目的室のつながりを考慮し、「調べる」「学ぶ」「発表する」といった一連の学習が効果的に行えるような施設づくりを行う。
- ・統合新校の対象となる学校、それぞれの校風や児童の特性に留意し、既存校舎の記憶の歴史的継承を図る。
- ・児童が安心して気持ちよく過ごせる生活の場、体力づくりを進められるような充実した屋内運動場、プール、校庭の整備を図る。

(2) 特別支援学級・特別支援教室における特別支援教育の充実に資する施設をつくる。

(3) 今後の教育環境や社会状況に柔軟に対応できる施設整備や維持管理のしやすい環境をつくる。

<施設整備>

(4) 学校運営上支障のない範囲で実施する校庭、屋内運動場を中心とした学校開放を踏まえ、子どもから高齢者、障害のある人にも不自由なく利用できるユニバーサルデザインによる施設づくりを行う。

(5) 児童たちの環境教育の充実を図るとともに、ヒートアイランド現象等の環境問題に対応をすため、施設の緑化などのほか、自然エネルギーを活用した省エネ・省資源型の施設づくりを行う。

<セキュリティ・防災>

(6) キッズ・プラザや地域開放型図書館等、学校運営と異なる管理主体を施設構成に含めることを想定した設計上の配慮を行う。

(7) 不審者の侵入防止など、十分な安全対策を講じるとともに、震災時の地域避難所としての活動を踏まえ、防災機能の充実、災害時の広域避難場所との連携や救援活動が円滑に行える施設づくりを行う。

<コスト>

(8) 学校に必要な機能等を定めた標準仕様を基本とし、できる限りコンパクトな施設として必要経費の縮減を図り、改築後の後年度負担（ライフサイクルコスト）の縮減を検討する。

委員長

今の説明について何か質問等あるか。

委員

教育機能の(1)の2点目のICTについてだが、30年後ぐらいまで見据えた場合、これからの学校はコンピュータ室が必要なくなるのではないかと思っている。記載された内容は賛成なのだが、実際に新校舎をつくる時には、廊下でもどこでもICTが使えるような施設にして欲しい。

区担当

学習の仕方が変わってきているので、そういった意見も取り入れながら施設の配置を考えていきたい。

委員長

それでは、今出された意見を踏まえて、引き続き検討してもらいたい。

次に施設計画について、説明を求める。

■資料「施設計画について」パシフィックコンサルタンツ株式会社から説明

(概要)

○計画条件等

- ・所在地 東京都中野区大和町4丁目26番5号
- ・敷地面積 10,277㎡
- ・前面道路 北側：道路幅員4.0m、西側：道路幅員4.0m
南側：道路幅員5.0m、東側：道路幅員5.4m
- ・用途地域 第1種低層住居専用地域
- ・防火指定 準防火地域・新防火地域
- ・容積率 150%
- ・建ぺい率 60%(特例・緩和80%)
- ・許容延床面積 15,415.5㎡
- ・許容建築面積 8,221.6㎡
- ・高度地区 第2種高度地区
- ・隣地斜線 5m+1.25
- ・道路斜線 1.25
- ・日影規制 範囲5m～ 4.0h
範囲10m～ 2.5h

測定水平面 1.5m

○施設計画

中野区立小中学校施設整備計画に示されている配置すべき教室等を整備した場合、どれぐらいの校舎の大きさになるか理解してもらうために配置イメージを作成した。

高さが10m制限であるため、両案とも校舎は3層建てを前提に計画している。

建物面積については、区で推計している将来の児童数をもとに中野区立小中学校施設整備計画における基準面積から算出している。

(1)施設配置イメージ1 北側に校舎を配置した案

- ・児童の出入口は、現在の正門(東側)と北西側の2カ所設けている。
- ・給食関係の車両搬入口は、現状と同じ北側とする。
- ・キッズ・プラザや地域開放型図書館などの開放施設は、授業時間以外も使用するため、独自の出入口を西側に設けて、児童の出入口とは別にしている。

(2)施設配置イメージ2 南側に校舎を配置した案

- ・条件はイメージ1と同じだが、北東側の隣地の住人の方に配慮して、南側に校舎を配置した場合の案である。
- ・児童の出入口は、北側とする。
- ・給食関係の車両搬入口は、現在の正門(東側)とする。
- ・キッズ・プラザや地域開放型図書館などの開放施設の出入口は、南側とする。

委員長

今の説明について何か質問等あるか。

委員

校舎棟と体育館にプールなどの建物として必要なものは全て入っていて、それ以外は校庭ということか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

そうである。

委員

敷地面積が限られているから、校庭を有効に使うためには建物をできる限り高くしたほうが良いと思うのだが、高さは10mを超えることはできないのか。100mの直線のとれる校庭をぜひ実現してほしい。そのためにはやはり高さを高くして校庭を広くしないといけない。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

良好な住環境を確保するという枠組みの中で第1種低層住居専用地域という用途地域の指定になっており、原則、高さを10mに抑えて計画することになる。ただ、校庭が確保できないというように著しく教育環境が確保できないような場合、その10mの上限についても考えていかなければならなくなる。我々も他の自治体では第1種低層住居専用地域で許可申請を取った上で、特例で高さ12mの設計をしたことがある。法的には10mを超えることは可能である。

委員

これは半地下といったことも考えて設計しているのか。それとも、全て地上に建てるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

地下となると掘削する必要があるため地上に建てるよりもコストがかかってしまう。そのため、できるだけ経済的に計画することがまず前提と思っている。

委員

現状の大和小学校の高さは、何mなのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

3階建ての部分は12mぐらいで、4階建ての部分は16mである。一番高いところで16mあるが、建てる時に許可をわざわざとったということになる。現在はそういった許可をとるのが大変難しくなってきたと聞いている。

委員

見学した谷原小学校も低層地域のため、校舎は3層で1層の高さがかなり低くなっていたので、天井がやや低い感じを受けた。天井の形は凹凸があったり斜めになっていたり工夫されていたが、大人からすれば低いと感じた。

委員

キッズ・プラザを学校に整備するに当たって何人ぐらいの規模を想定しているのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

人数までは聞いていないが、キッズ・プラザ全体で560㎡を計画している。その中には活動室といわれる60㎡の部屋を2部屋、子育て支援ひろばといったところを120㎡で、10m掛ける12mぐらいの広さを確保できるような計画で考えている。

委員

キッズ・プラザを入れつつ教室も確保するとすると、スペースにゆとりがなくなってしまう可能性があると思う。谷原小学校では、廊下も広々としており、子どもたちが集まれるスペースがあってすごく良いと思った。最低限確保しなければならないものもあるが、ぜひ多目的に使えるような、子どもたちが自由に活用できるような場所というものを作ってもらいたい。

委員長

そもそもキッズ・プラザとは、どういうものなのか。

区担当

キッズ・プラザというのは、放課後に子どもが過ごす場所という考え方である。またキッズ・プラザには、学童クラブが入る。そのキッズ・プラザを順次、整備していく計画となっている。

委員

新校舎の検討の進め方を確認したい。どこに校舎を置くかで大きな違いがあるが、そういう大きな考え方を固めてから、教室の配置などの細かい検討に入っていくのか。それとも、両案について少し内容を具体化させて、最後にどちらかの案に絞り込むというように決めるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

イメージ1は現在の校舎配置を踏襲した形で、南側採光である。イメージ2は、北東側の住民は日影など圧迫感があるので、それをある程度緩和したものである。ただし、南側に校舎を配置した場合は、校庭に日陰が落ちるということを踏まえ、どちらに校舎を配置するのかという判断になると思う。あとは、校庭面積を確保するためにどうするのか、また、普通教室は南側採光だが特別教室は北側で校舎に向いて良いのかとか、そういった意見を聞き細部の検討に入っていきたい。本日出された意見を整理し、優先順位をどうするか整理した上で、次のステップでは、どこをキッズ・プラザのエリアにするのかなどのゾーニングを示せればと思っている。

委員

まず、校舎をどちらに置くか決めてから、その上で教室等をどう配置するか決めていくことになるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

そうである。

委員

今日示された2案は、非常に顕著な2例だと思ったのだが、その認識で良いのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

そうである。美鳩小学校の子どもの人数を踏まえて校舎を配置した場合、校舎や校庭のボリュームはどうなるのか理解してもらった上で、普通教室はどういうところが良いとか、特別教室は北側で良いのではないとか、そういった意見を聞きたいと思っている。

委員

どうしても改築となると、校舎の配置を変えられるので日当たりや校庭の広さ、そういうところに注目がいくのだが、学校見学のときに、子どもたちが一番長く過ごす場所は校舎なので校舎内を充実させるべきなのではという話を聞いた。そういった意見もあるので、いろいろな角度か

ら検討すべきと思った。

統合委員会としては、校舎の施設整備について、どの程度まで協議するのか。具体的に、北側校舎とした場合に特別教室の位置をここに配置した方が良いとか、そういう細かい内容をこの場で協議するのか。

区担当

細かい部屋の配置まで検討していくとなると時間が非常にかかるし、意見が分かれてまとまらなくなってしまう恐れもある。そのため、統合委員会ではこういう校舎にして欲しいというイメージを意見として出してもらい、配置などは区と設計会社で検討させてもらいたいと考えている。

委員長

校舎を南側に置く案と北側に置く案があるが、どちらにするか決めたほうが良いのか。

区担当

決めるというよりも、例えばイメージ2であれば、搬入口は児童の入り口にした方が良いとか、この配置案を見て、改善しなければならない点やこのような校舎にして欲しいというイメージなどの意見を出してもらいたい。次回は、その意見を踏まえて検討したものが出てくると思う。

委員

児童の入り口についてだが、イメージ1の場合、若宮小学校との統合という意味で北西側に入り口があるのは非常に良いと思うが、校舎を挟んで入り口があるので動線が二つになる。登校時、一度に600名ぐらいの児童が入ってくる時に、児童の安全確保ということで両方に目を届けられるのか少し不安を感じる。

委員

大規模改修の時にも同様の意見が出ていたと思う。そういう意味では、イメージ2のほうが良いと思うが、自動車が入る搬入口は西側や南側にして、東側の入り口は児童の入り口にするべきである。そうすれば、校庭は全て見渡せるし、管理ができるのではないかと。それと、前にも出ていたが、北側の道は雪が降ったら固まってしまうが、南側に校舎を配置すれば日が当たってよく溶けると思うのでイメージ2が良いと思う。さらにこれをコンパクトにして、100mの直線がとれるようにしてほしい。

委員

イメージ1とイメージ2で建物の大きさがそこまで変わらないのであれば、出入り口に関しては2カ所あった方が良いのでイメージ1のほうが良いと思う。児童の安全管理については、新しく建てるので、設計次第で見渡せるようになるのではないかと。

若宮小学校は校庭が芝生であるため、新校舎も芝生を整備するか考える必要があると思う。南側に校舎を配置した場合、日が当たらないので芝生を整備するのであればイメージ1だと思った。

委員

私も総合的にイメージ1のほうが良いという気がする。南側にこれだけの建物を建てるとなると、近隣の住民にすごく圧迫感を与えると思う。南側に校庭があって南側採光の校舎のほうが、より一般的であるし、子どもたちにとっても南が開けている方が良い気がする。また、北側は河川だし、北側に建物を建てたとしても、おおむね今までどおりなので特に問題もないのではないかと。雪の凍結についても必ずしも生じることはないし、時期的なものなので何か対応できるのではないかと考えている。

それと、動線もイメージ1のほうがより自然だと思う。東側の道路のほうがより正門を立地しやすい広さがある。私はイメージ1のほうがより学校らしいものができるのではないかと考えた。

委員

イメージ2のように南側に校舎がある学校というのはあまり一般的ではないのか。影が校庭の半分ぐらいまで伸びるようなことになったときに、水はけは大丈夫なのか。南側に校舎を配置した学校の事例などあれば教えて欲しい。

委員

若宮小学校は南側校舎ではないが、雪が降った場合、校舎の北側は2週間ぐらい凍ってしまう。

そうということが校庭で起こり得るのではないか。

委員

ちなみにイメージ1は、現状より校庭が狭くなるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

現状の歩道で囲われている部分が3,150㎡ぐらいあるが、その大きさは確保している。ただ、形が少し変わってくるので、使い勝手はどうなるかという部分はあると思う。イメージ2に関しては、現状より少し広めにとれる形になっている。

委員

広くても使い勝手が悪いのならば意味がないと思う。

委員

先ほど直線で100m確保できたら良いという話があったが、イメージ1だと端から端までどれぐらいなのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

50mはとれる。

委員

そもそも敷地で100mとれないのだったら、私の意見は撤回する。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

よく斜めで直線距離をとったりする学校もあるが、斜めでも100mは厳しく、70とか80mとかになってしまう。

委員

ちなみに小学校で100mの直線のニーズというのはあるのか。

委員

100mのニーズはない。長く走っても50mである。

委員

このプランをつくるに当たり、ゾーニングを考えて検討していくのだと思うが、開放ゾーンや学校ゾーンなどの機能ごとの結びつきが分かるようなものがあった上でこの図面があると、より想像しやすいのではないか。可能ならば見せてもらいたい。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

どこにどのようなものを配置するか、1階には管理諸室を配置するか、そのように優先順位を決めてプランを作っている。ゾーンごとの機能図については、お見せしたいと考えている。

委員

プールは校舎の屋上などに配置するという前提で、この配置になっているのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

中野区の方針はプールを建物の屋上に配置するという考え方である。

委員

他の委員からも発言があったように、建物自体の配置が変わると周辺の方にとっては大きく環境が変化することになるので、今までなかったあつれきが生じる可能性がある。なるべく今の校舎の配置と大きく変わらないほうがベターという気はしている。

校庭を広くするために敷地をできる限り使って建物を配置した場合、農園など授業の一環で植物を育てるスペースが確保しづらいと感じた。屋上農園みたいな児童も利用できるようなものがあると良いと思う。

あと、谷原小学校では、図書室の隣にパソコン教室が配置されていて扉でつながっており、床も全部OAフロアになっていた。恐らくは、電子図書館みたいな利用も想定しているのだと思うが、そういったことも今後の図書室のあり方を踏まえて、レイアウトに盛り込んでも良いのではと感じた。

委員長

それでは、今まで出た意見や要望などを踏まえて引き続き協議していきたい。よろしいか。

— 異議なし —

委員長

次に校舎に関してのアンケートの実施について、説明をお願いします。

■資料「統合新校改築基本構想・基本計画の検討にあたり実施するアンケートについて」教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）から説明
(概要)

○実施期間

9月26日から10月14日

○対象

児童（4～6学年）、教職員、保護者（全保護者）、地域住民（各学校統合委員会委員の推薦する地域住民）

○実施方法

児童（4～6学年）、教職員、保護者（全保護者）には、学校を通じてアンケート用紙を配布し学校が回収を行う。

地域住民には、統合委員会の委員（町会・自治会推薦、校長推薦、公募）がアンケート用紙の配布と回収を行う。回収したアンケート用紙は、次回の学校統合委員会で中野区に提出する。

委員長

回収したアンケートはどのように事務局へ渡せば良いのか。

事務局

次回の統合委員会に回収したアンケートを持ってきてもらいたい。その時に事務局が回収する。

委員

これから学校に入学することとなる未就学児については、どうするのか。

事務局

もし委員の中で未就学児の保護者に知り合いがいれば、アンケートを渡してもらいたい。

委員

このアンケートの結果で全て決まる訳ではないし、あくまでも参考ということか。

事務局

そうである。

委員長

では、今、説明があったようにアンケート用紙を配布して回収し、次回の統合委員会のときに持ってきて欲しい。

議事(2) 統合新校の校章の検討について

委員長

それでは、2番目の「統合新校の校章について」事務局の説明を求める。





■資料「美鳩小学校の校章について」事務局から説明

(概要)

- ・前回の協議では、デジタル化した手書きの作品5点と完成品に近い6点をもとに協議し、3点に絞られた。その3点について、アレンジしたデザインを作ってもらい協議していくこととなった。
- ・本日の協議では、アレンジしたデザインをもとに協議を進め、最終的に美鳩小学校の校章として1つのデザインにまとめてもらいたい。

- また、校章の説明文の案を応募者の説明をもとに作成した。この説明文についても、意見をもらい、校章と合わせて10月に教育委員会へ報告してもらいたい。

【校章候補デザイン】

1	①基本デザイン	②アレンジ 1	③アレンジ 2	④アレンジ 3
				
2	⑤基本デザイン	⑥アレンジ 1	⑦アレンジ 2	⑧アレンジ 3
				
3	⑨基本デザイン	⑩アレンジ 1	⑪アレンジ 2	⑫アレンジ 3
				

【校章の説明(案)】

この校章は、統合する大和小学校と若宮小学校の子どもたちや関係者などから広く図案を募集し、応募作品の中から大和小学校・若宮小学校統合委員会での検討を経て定められたものです。

校章に描かれた枝は、若木をイメージしており美鳩小学校で成長する子どもたちを表しています。

鳩は、平和の象徴であることから、子どもたちがお互いの良い所を見つめ合い、仲良く育っていくことを表しています。また、飛び立つ鳩のように、子どもたちがこの地域から大きく羽ばたいて、日本や世界の未来を担う人物になって欲しいという願いが込められています。

※「デザイン3」が選定された場合は、_____部分を削除する

委員長

本日この3種類のデザインの中から1つに決めたいと思うが、何か意見等あるか。

委員

美鳩小学校の教育目標が配付されているが、これを踏まえて校章を考えるべきなのか。

委員

教育目標は場合によって変わることもあるので、あまりこだわらなくて良いと思う。それより校章に込めた思いを重要視して決めた方が良いのではないか。

委員

細かい意見を出し合っても決まらないと思うので、大きくくりで1番、2番、3番を多数決で決めればどうか。

委員長

それでは、1番、2番、3番の3種類から一つ決める。良いと思うものに挙手して欲しい。

ー 良いと思う校章デザインに挙手 ー

事務局

挙手の結果、1番は10名、2番は7名、3番は3名である。

委員長

それでは、こういう思いで選んだという意見を発言してもらいたい。それを聞いた上で変更する委員がいれば最後に聞きたい。

委員

2番と悩んだのだが、仲の良いところと、巣立っていく、飛び立っていくというイメージを考えたときに、1番が最もふさわしいと思った。2番だと飛び立っていくが、また戻ってきてしまうように見えた。

委員

2番は枝葉を持って戯れているような印象が小学生らしくて良いと思い迷ったが、1番の④のデザインに①の字体を入れた方が良いと思い、1番を選んだ。外に向かって飛んでいるのが良い。ただ、字体は明朝体のほうが個人的に良いと思った。

委員長

それでは2番を選んだ委員で意見はあるか。

委員

私は今まで3番が良いと言っていたが、⑦が素敵だと思い2番に変えた。今まで、3番のデザインは三つの図形ということから、それを教育目標に当てはめてみてはどうかと考えていたが、実は三つではなくて四つの図形であったため、意味づけが難しいと思った。それで、1番より2番のほうが鳩の羽ばたくイメージが強いと思ったので選んだ。「飛び立っていくが、また戻ってきてしまう」という意見もあるが、地域に戻ってきてほしいという気持ちもあるし、世代をつなぐとか、そういう気持ちも込められると思った。

委員

校旗にしたときに、1番はどのアレンジでも、おさまりは良いと思うが、あまりにもベーシックだと思う。2番の⑥か⑦ならば、枝葉の部分に金糸を使ってみたら非常にきれいだろうし、2羽の鳩が上下にあるのでボリュームがあり、見栄えが良いと思ったので2番に手を挙げた。2番の鳩は、まさに飛んでいて、子どもたちがいろいろなことを学校から身につけて飛び立っていくという様子がイメージできる。戻ってきてしまうのではなくて、自分たちが身につけたさまざまなものを地域に戻す。または日本で活躍し、世界に羽ばたいてそれを循環させる。そういった深い意味合いにも取れるのではないかと思った。

委員長

ほかにはどうか。

委員

今までの意見を聞いて2番に変更したい。2番の⑧が校章の説明案にも合っているし、躍動感があり、自立して羽ばたいていると思う。

委員

1番の④から2番の⑦に変更したい。枝葉はこちらのデザインの方が好きだし、鳩に動きがあって良いと思う。

委員

確認なのだが、文字の字体を変える余地はあるのか。ここの字体は割と一般的なフォントであり、校章に合うような字体に変更した方が良いのではないかと思った。

事務局

字体を変更することは可能である。

委員長

3番を選んだ委員で意見はあるか。

委員

平和で仲良くしてほしいというのは、校名や鳩のデザインを採用した時点で十分その気持ちは込められていると思っている。そうではなくて美鳩小学校から巣立って行って、自立した大人になり、自分の人生を歩んでほしいという思いを校章には込めたいので3番を選んだが、なかなか

賛同が得られなかった。そうであれば、1羽ではあるが背中に美鳩の字があり、美鳩小学校から世の中に羽ばたいていく、大空に羽ばたいていくみたいな感じがうまく表現できている2番の⑧が良いと思った。

委員

3番は、他のデザインとは全く違うデザインで、未来を感じさせてくれるデザインだと思っていた。また、子どもたちが書けるようなシンプルなデザインになっていて、子どもたちが校章に愛着を持ち身近に感じてもらえると思い3番を選んでみた。しかし、配付された校章の説明案に「お互いが良いところを見つめ合う」とあり、2番は仲よくというイメージに合うと思った。2番の⑦か、1番の①で悩んでいる。

委員長

他に発言したい委員はいるか。

委員

1番の③が良いと思っていたが、何か足りないと思っていて、そういう意味ではずっと引っかかっていた。それで、皆さんの意見を聞いて2番に変えたいと思っている。⑥が最初は良いと思っていたのだが、⑧が鳩の羽ばたき方も良いし、少し気に入っている。そういったことを含め2番に移りたい。

委員

私は⑦がとてもきれいで躍動感があると思い2番を選んだ。1番は、何か鳩がとどまってしまっているような気がしている。それに対して、2番は本当に空に向かって飛び立っていくのと、自由に飛び回るイメージが、このリースの「永遠」という意味から、永遠に続くということも表現できて良いと思った。⑧の羽はすごく良いのだが上から飛び降りている気がして、⑦が良いと思った。

委員長

先ほど1番を選んだ委員が10名いたが、意見を変更する方がいるので、再度、良いと思うデザインに挙手をしてもらいたい。

— 良いと思う校章デザインに挙手 —

事務局

1番に8名、2番に12名である。

委員長

3番はなしだったので、2番のデザインが一番多い。2番のデザインということでよろしいか。

委員

私は1番を選んだのだが、思いを述べさせて欲しい。1番の①は、少し急降下しているようなイメージがあるが、②は内側に羽をつけ足して、その場に浮遊しているイメージがある。④は、逆さまに向いているため、向かい合っているというイメージがなくなってしまうので1番の②が良いのではと思った。字体も、できれば丸ゴシックなどのやわらかい方が良いと思った。こういう意見を持っている委員で、1番に変更する人はいないか。

委員長

今の意見についてはいかがか。特に選んだデザインを変更する意見が無ければ、先ほどの結果である2番のデザインの中から一つに決めたいと思うがよろしいか。

委員

そうではなくて、1番と2番の個別のデザインについて投票する形にしてもらいたいのだが、どうか。

委員長

この①から⑧の8つの中でどれが良いか挙手してもらい、一番多いものに最終決定するということか。

委員

一番多いものに最終決定ではなく、その後、どんどん絞り込んでいけば良いと思う。残して欲しいという意見がある人もいるだろうし、結果によって意見が変わる人がいると思うので、1回で決めず時間をかけて考えれば良いと思う。

委員

何を選んだか理由を述べる時間は終わったので、あとは何を選ぶかだけだと思う。先ほどは意見を聞いた上で変更したのだから、これ以上変更することはないのではないか。

委員

⑦と⑧は全く違うデザインなので2番という同じ枠組みではないと思う。②が8名、⑧が4名だったら②のほうが多いということになる。そういう可能性もあるので1つずつ投票してはどうかという意見である。

委員

今までの協議は、3種類のデザインの中からどれか1つに絞り、さらにアレンジの中から1つに絞ろうということで進めてきた。その進め方で良いと思う。

委員

8つで投票し、その結果を踏まえ意見を聞きながらまとめていくよりも、最初は1番が優勢だったが、校章に込めている思いを聞いた上で投票した2回目の結果を最優先に考えて、2番の中から選択するほうが良いのではないかと。最終的には委員長の判断に委ねたいと思う。

委員長

他の委員は何か意見あるか。

委員

2番を選んだ委員は、鳩が飛び立っているイメージや同じ2羽を使っている、1番とは違うところに良さを感じて2番を選んでいるのだと思う。そのため、2番の中で意見が割れていても2番から1番に変更することはないという気がする。それを8つの候補に分けて、そこで優先順位がついてしまうというのは、2番を選択している人からすると疑問に思うのではないかと。

委員

選定方法として、1番、2番、3番の中から投票をした時点で、①から⑫を個別に投票する選択肢はなくなったのではないかと。最初から統合委員会として個別に投票して決めるというのであれば良かったのだが、一旦投票してみて、意にそぐわない結果だったので、やり方を変えるというのは不自然だと思う。

委員

アレンジの仕方それぞれ好みがあるのは当然であり、私は1番の中でも④が良いと思っていた。しかし、統合委員会の協議の結果2番になった場合は、2番の中から選べば良いと思っている。

委員長

それでは、1番、2番、3番の中から投票してもらった結果から2番とすることとし、2番の中から最終的なデザインを選ぶということではよろしいか。

— 異議なし —

委員長

それでは、2番の⑤、⑥、⑦、⑧の四つの中から良いと思うデザインに挙手して欲しい。

— 良いと思う校章デザインに挙手 —

事務局

⑥が1名、⑦が10名、⑧が5名である。

委員長

それでは、⑦を美鳩小学校の校章として決めたいと思う。

委員

先ほど字体についての話も出たが、字体はこのままでいくのか。あと、葉の形はこれで良いの

か。その辺の変更は可能なのか教えて欲しい。

事務局

字体を入れ替えるのは可能だが、葉の形を変えると印象も変わってくると思う。大きくアレンジをすることはできない。

委員長

では字体の変更などについて意見はあるか。

委員

字体もこのままで良いと思う。

委員

さっき④を選んだときは、④の周りが大人しかだったので楷書が良いと思ったが、⑦は周りに躍動感があるので、この字体のままで良いと思う。

委員長

それでは、字体もこのままでよろしいか。

— 異議なし —

委員長

それでは、⑦のデザインの修正はせずに、このままの形を校章として決定する。

次に、校章の説明についてだが、事務局案に修正等の意見はあるか。

委員

「鳩は、平和の象徴であることから、子どもたちがお互いの良い所を見つめ合い」とあるが、向かい合っていないデザインなので「合い」ととったほうが良いと思ったのだがどうか。

委員

見つめ合うのであり、向かい合うわけではないので、このままで良いと思う。

委員長

よろしいか。それでは、この校章の説明案で進めさせてもらう。校章については、後日、教育委員会へ報告する。事務局は、その手順をお願いする。

議事(3) 統合新校の校旗の検討について

委員長

それでは、3番目の「統合新校の校旗の検討について」事務局の説明を求める。

■資料「校旗の制作について（参考資料）」事務局から説明

（概要）

- ・ 配付した資料は、中野区で開校した統合新校の校旗である。一般的に、形は横長の長方形で、濃い色の生地を使用し、校章や校名の刺しゅう部分には金糸や銀糸を使用することが多くなっている。
- ・ 本日は、美鳩小学校の校旗についての意見を取りまとめてもらいたい。金糸や銀糸の使い方など細かな部分をこの場で決めるのは難しいので、そういった部分については両校と事務局とで業者と相談しながら決めさせてもらいたい。統合委員会では生地の色などの大まかな部分について決めてもらいたいと思う。
- ・ なお、本日は校旗のカタログや色見本などを用意したので、協議の参考にしてもらいたい。

委員長

事務局から説明があったが、校旗の細かい部分については学校と事務局とで業者と話し合って決めてもらえれば良いと思うが、よろしいか。今、生地の見本を回覧しているが、色も学校に任せたらどうか。それとも、この色が良いという意見はあるか。

委員

鳩をデザインした校章が校旗に入ることになるが、鳩は空に飛んでいくので、できれば青色が良いと思った。

委員

校旗は長く使うものであるため、色あせしにくいものが良いと思う。青でも濃い色合いのほうが良いような気がする。

委員

両校の校長でスクールカラーを検討していたのだが、空のイメージが鳩に合うと思っており、青をベースに考えてはどうかと話していた。あまりにも濃いと空のイメージにならないが、青をベースにしたいと考えていた。

委員

最後は学校にお任せした方が良いと思う。

委員長

それでは、校旗の色は青系統ということでよろしいか。濃い色が良いなどの意見がでたが、それを踏まえて、両校で決めてもらいたい。

— 異議なし —

委員長

では、校章と同じように、校旗についても、後日教育委員会へ報告したい。事務局は準備を進めて欲しい。

議事(4)その他

委員長

それでは、その他として、美鳩小学校教育目標について、学校から説明をお願いしたい。

■資料「美鳩小学校教育目標」について、学校から説明

(概要)

「知徳体」を「みはと」で表現したかったが、「みんなと はげみ とともに 伸びゆく みはとの子」というリード文を入れることにした。後は「知徳体」を「考える子 思いやりのある子 元気な子」というように表現した。これなら、バランスのある教育目標と美鳩小学校のオリジナル性が出ると思う。

委員長

教育目標等については、今後も両校で検討を進めて欲しい。次に、美鳩小学校の学校指定品について、学校から説明をお願いしたい。

委員

学校指定品だが、体育着の上は丸首で襟に青のラインが入っており、肩にも青のラインが入ったものにし、体育着の下はクォーターパンツにして、色は現在検討中だが、できれば青にそろえたいと考えている。

水泳帽は、よく見えるようにオレンジにし、中央にマジックテープがつくような形にしようと思っている。

委員長

学校指定品について何か質問はあるか。

なければ、次回のカンファレンス日程を調整する。

— 日程調整 —

委員長

次回は10月31日月曜日の午後6時から大和小学校で開催する。
それでは、本日の統合委員会はこれで終了する。